

観光振興による地域創生に向けた人材育成事業

大学・地域・企業 つながり通信

広島市立大学 COC+ ニュースレター

vol.002

2016.03.

01. 平成28年度入学生から 地域志向科目を充実します

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材の育成を目標としています。国際化や情報化に対応できるグローバルな人材とともに、地方創生に向けた大学の取組が注目されており、地域に貢献する人材の育成にも力を入れています。

こうした中、本学は平成27年度に文部科学省による「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の採択を受けました。これに伴い、平成28年度からの新入生を対象として「地域貢献特定プロ

グラム」を導入します。地域の資源や産業などを学び、地域への愛着を深め、将来にわたり地域で活躍できる知識や能力を修得することができる科目が充実します。

02. 観光をテーマに 地域が求める能力を養成

広島市や近隣市町は、原爆ドーム、厳島神社の世界遺産をはじめ豊富な観光資源に恵まれた地域です。観光振興施策は地域づくりの大きな柱でもあります。本学の「地域貢献特定プログラム」により、地域の発展手段としての観光振興をテーマに、地域の置かれているさまざまな状況の学習を通

じて、卒業後、社会人として主導的に専門分野の課題解決ができる能力を養うとともに、職場や地域等に適応できる汎用性を養成します。具体的には次の4つの能力の修得を目指します。

- ①地域の特性・課題への理解力
- ②総合的視野から課題解決方法を企画する能力
- ③自治体や企業等とのネットワークを形成・調整する能力
- ④専門性を効果的に発揮する能力

こうした能力を養成することで、「地域に愛着・誇りを持ち、地域に根付いて、その発展に貢献する人材」が育つことを期待しています。



平成28年度新入生の皆さんへ

本学のCOC+は、大学、自治体、企業等と協働して、皆さんの学習をサポートし、地域に関心を持ってもらい、地域に就職する学生を増やし、若い人たちがこの地に夢を持って生活していけるような活力のある地域づくりを目指しています。新入生の皆さんにとっても将来の進路を決める上での基礎や専門性を修得・応用できる重要なカリキュラムです。

COC+で実施する「地域貢献特定プログラム」や観光振興を目的としたアートプロジェクト等の教育研究事業は、本紙2～4ページで説明していますのでご覧ください。多くの学生の皆さんが関心を持って、受講することを期待しています。

地域を「知る」、「感じる」、「問う」、「挑戦する」科目で構成する「地域貢献特定プログラム」

03. 「地域貢献特定プログラム」とは

地域の魅力や現状を知り、課題へのアプローチや、地域で活動する基礎を学ぶ教育プログラムです。大学における既存の教育プログラムに加えて、これまで以上に地域に密着した学外での実践的な講義や地域に関する専門性の高い講義を選択することができます。国際、情報科学、芸術などの学部に入学者も履修が可能です。

04. 1～3年次まで充実した科目を設定 4年次で卒業論文・研究のテーマに

「地域貢献特定プログラム」は、各学部の1年次から4年次の教育プログラムに組み込まれています。同プログラムは地域を「知る」、「感じる」、「問う」、「挑戦する」という段階を踏みながら、地域を舞台としてその魅力を発見し、課題の解決について考えていく実践的な教育プログラムです。

1年次から同プログラムの中から科目を

履修することで、各学部の専門分野の学びと並行して、地域に関する知識と課題解決能力を身に付けることができます。

1、2年次では、「地域を知る」ために、全学共通系科目である総合科目、広島科目の中で、地域資源や産業、技術など地域の魅力や現状や課題、これからの方向性等について学びます。

2年次の「地域課題演習」では、3学部の学生が合同で10人程度のグループを作り、現地を訪れ実践体験を通して、地域の

「地域貢献特定プログラム」の認定要件

次のAからDを含めて8単位以上修得した者を、「地域貢献特定プログラム」履修者として認定します。

A 「総合科目」群から2単位以上

B 「広島科目」群から2単位以上

C 「地域課題演習」又は「地域実践演習」から1単位以上

D 学部専門教育科目において別途定める「地域志向科目」群から2単位以上（「地域志向科目」群は平成29年度から科目数の追加を検討しています。）

地域貢献特定プログラム科目編成

科目区分	地域貢献特定プログラムの区分	授業科目名	単位数	開設年次及び学期	
全学共通系科目	総合科目	[新] 地域再生論入門	2	1-2年・前期 ^{*1}	
		創作と人間	2	1-2年・前期	
		NPO論	2	1-2年・前期	
	広島科目	B	[新] 広島の観光学	2	1-2年・後期
			ひろしま論	2	1-2年・後期 ^{*2}
			広島の産業と技術	2	1-2年・後期
	C	[新] 地域課題演習	1	2年次	
国際学部 専門教育科目	公共政策・NPOプログラム	D	[新] 地域再生論	2	2-3年・後期
	専門演習	C	[新] 専門演習Ⅰ（地域実践演習）	1	3年・前期
			[新] 専門演習Ⅱ（地域実践演習）	1	3年・後期
情報科学部 専門教育科目	専門基礎科目・専門科目 （学部共通科目）	D	[新] 観光情報学	2	2-3年・前期
		C	[新] 地域実践演習	1	3年次
芸術学部 専門教育科目	専門基礎科目	D	アートマネジメント概論	2	2-3年・後期
		C	[新] 地域実践演習	1	3年次

※授業科目名の[新]は平成28年度入学生対象新規科目です。

*1 平成28年度入学生用の「学生HANDBOOK2016」の教育課程表に記載していますが、開講は平成29年度になります。

*2 平成29年度から前期開講に変更する予定です。必要に応じ、他の科目の開講時期を変更することがあります。授業科目の内容は本紙4ページをご覧ください。

現状や課題等を学ぶことを計画しています。

国際、情報科学、芸術とそれぞれの学部
の特色ある指向性を持った学生が、それぞ
れ違った視点で地域を見て討論することに
より、地域を多角的に理解するとともに、
幅広い豊かな人間形成の基礎となることを
目指しています。

2、3年次では、学部の専門分野を重視
した教育内容に移行しますが、専門分野か
らの視点での地域創生と地域課題解決に
関する講義を受講できます。

3年次の「地域実践演習」では「地域を
問う」科目として、それまでの知見と各学部
の専門性を生かして地域の魅力を引き出
し、より高めていく取組や、地域の課題解
決を実践的に試行しています。

05.プログラム修得認定と 「ひろしま地域リーダー」

「地域貢献特定プログラム」授業科目か
ら、定められた単位数を修得した学生は、

「地域貢献特定プログラム」履修者として認
定されます。

さらに4年次において、地域貢献に関す
るテーマで卒業論文・研究・制作を行い、そ
の単位を修得した学生には、卒業時に「ひ
ろしま地域リーダー」の称号を授与します。
本学では、地域の企業等に「ひろしま地域
リーダー」の称号について周知し学生の就
職支援に努めます。

広島市立大学COC+カリキュラムシークエンス

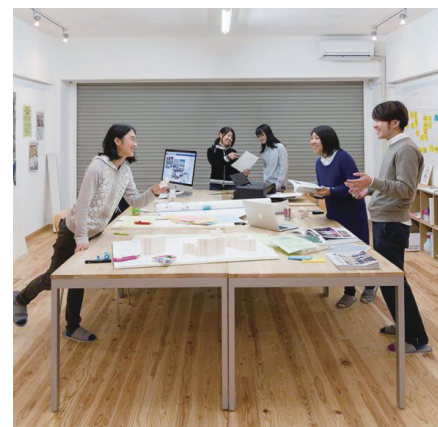
	1年次(H28年度開始)	2年次(H29年度開始)	3年次(H30年度開始)	4年次(H31年度開始)	卒業時(H32年3月)
全学共通系科目	1.[知る] 地域の歴史、風土、文化、産業等の知識を多角的に把握し、地域の特性や課題を理解する	2.[感じる] 地域の問題解決(PBL) DB活用・参考による課題設定 地域課題演習 →成果のDB登録	3.[問う] キャリアアップに向けたコース選択 「地域貢献特定プログラム」として認定	4.[挑戦する] 「シーズ発信」と卒業単位化、「ひろしま地域リーダー」認定	「ひろしま地域リーダー」の認定 【育成する人材像】 1.地域特性:課題を理解している 2.総合的視野から課題解決方法を企画できる 3.ネットワークを形成・調整できる 4.専門性を効果的に発揮できる
総合科目群	地域再生論入門 創作と人間 NPO論				
広島科目群	広島の観光学 ひろしま論 広島の産業と技術				
国際学部 専門教育科目		地域再生論	DB活用・参考による課題設定 専門演習Ⅰ・Ⅱ(地域実践演習) →成果のDB登録	DB活用・参考による課題設定 卒業論文【地域】 →成果のDB登録	
情報科学部 専門教育科目		観光情報学	DB活用・参考による課題設定 地域実践演習 →成果のDB登録	DB活用・参考による課題設定 卒業研究【地域】 →成果のDB登録	
芸術学部 専門教育科目		アートマネジメント概論	DB活用・参考による課題設定 地域実践演習 →成果のDB登録	DB活用・参考による課題設定 卒業制作【地域】 →成果のDB登録	

DBとは:観光関連データベースの略。自治体や企業等が保有する観光名所・イベント・特産品、統計資料等の観光関連情報の集合体。「地域貢献特定プログラム」の教材として活用します。また、自治体や企業等との共同利用により雇用創出につなげることを目指しています。

06.学生・教員で取組む教育研究事業アートプロジェクトも展開

COC+では、アートプロジェクト等の教育研究事業も実施します。本学の教育研究活動拠点「M98(広島市中区基町)」では、平成28年度から、芸術学部デザイン系教員を中心に、他大学と連携したコミュニティーデザインプロジェクトや観光船へのグラフィティーデザイン等を実施します。また新たに宮島に教育研究活動拠点を設置して、作品展示、少人数によるフィールドワークなどを実施します。

このほか、アートプロジェクト等の教育研究事業は、実施候補地として北広島町、大崎上島、尾道市等も検討しており、複数のエリアで実施を予定しています。アートプロジェクトは、芸術学部生だけでなく、国際学部、情報科学部の学生も参加できる内容で実施します。



M98で活動する学生たち

- 「地域貢献特定プログラム」に関する問い合わせ 広島市立大学教務・研究支援室 ☎082-830-1504
- アートプロジェクトに関する問い合わせ 同社会連携センター ☎082-830-1764

平成28年度新入生向け地域貢献特定プログラムの科目内容

授業科目	概要
地域再生論入門 ^{〔新規〕}	都市や中山間地域における地域再生の様々な取組について、その実態と地域での工夫・知恵について学ぶ。田園居住、自然や第1次産業の活用、歴史文化や芸術・ITの活用、コンパクトシティ等について考える。
創作と人間 ^{〔既存〕}	創作体験と作品の紹介を通して多様な芸術観に触れ、人間的創作について考える。併せて、地域で開催されているアートプロジェクトや伝統芸術等の実際例も交え、社会における芸術の役割を考えていく。
NPO論 ^{〔既存〕}	様々な分野から見た市民社会の実態を幅広く学ぶことで、市民社会と現代社会の課題について考え、その発展のためには何が必要なのかを考えていく。
広島県の観光学 ^{〔新規〕}	地域を変革し活性化するパワーを持つ観光の様々な取組類型について、ビジュアルに学ぶ。併せて、人はなぜ観光をするのか、観光を支える仕組み等の観光についての基礎知識を学ぶ。
ひろしま論 ^{〔既存〕}	広島県の歴史、行政、経済、産業、文化などをひもといてその特色を知り、地域社会への関心を深める。また、国際平和文化都市広島県の原点である被爆体験および平和の取組について学ぶ。
広島県の産業と技術 ^{〔既存〕}	広島県の産業の特色と、産業を支える行政や大学の役割と取組について学ぶ。
地域課題演習 ^{〔新規〕}	学部横断的に10人程度のグループを編成し、与えられた地域課題の解決を目指すPBL形式の演習を実施する。課題例：宮島のアートプロジェクトの現地視察・講義、課題検証・プレゼンテーション。本学が開発した外国人向け観光案内システムによる国際会議の開催支援等。
アートマネジメント概論 ^{〔既存〕}	現在の日本のアートをとりまく状況について具体的な事例を通して、美術館等のキュレーション、マネジメントの実践的な方法を学ぶとともに、アートによる地域貢献について考える。
地域再生論 ^{〔新規〕}	社会学・経済学・経営学等の専門知識を取り入れながら、地域再生に関する発展的な内容を学ぶ。また、広島県における国際文化交流の歴史・現状なども学び、事業協働地域の国際観光地としてのポテンシャルと課題について考える。
観光情報学 ^{〔新規〕}	観光学と情報科学を組み合わせた新しい学問分野を講義する。ケーススタディとして、本学のCOC+で構築する観光関連データベースの利用についても取り入れる。
地域実践演習 ^{〔新規〕}	学部ごとに専門性を活かした課題解決のための実践的な演習を実施する。課題例：新規のアートプロジェクトへの参加、企画体験。観光関連データベースを活用した新規観光事業の費用対効果分析、外国人向け観光案内システムの改良等。

*平成29年度以降の開講予定科目。内容は変更される場合があります。

3月5日(土)キックオフ・フォーラム2016を開催しました

COC+キックオフ・フォーラムをメルパルク広島で開催しました。第1部には約220名の参加者があり、地域の観光ポテンシャルを活かした地域づくりや人づくりについて、4名の方に発表していただきました。第2部の交流会では学生や教員による地域と連携した研究活動の事例発表や、参加者からの事業に向けた期待等の発言もあり、交流を深めました。多数の皆様にご来場をいただきありがとうございました。



COC+とは?

COCはセンター・オブ・コミュニティの略称。「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」は、地方への人の集積を目的に、大学・自治体・企業等が協働して、地域に定住し、貢献していく人材を育成する取組への文部科学省の補助事業。

【編集発行】広島県立大学社会連携センター COC+ 推進事務局 〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号 TEL 082-830-1764 FAX 082-830-1555

表紙の写真：宮島 / 錦帯橋 / 原爆ドーム / しまなみサイクリング / 尾道の街並み (左上から時計回りに)

<http://www.hiroshima-cu.ac.jp>